

中高生の意見を反映した施設リニューアル

取組の背景・目的

ジャンプ東池袋施設老朽化により令和4年9月より令和6年1月まで大規模改修工事を実施。新施設について利用者である中高生の意見・要望を取り入れ反映させることによって、中高生が居心地良く過ごすことができる中高生の居場所づくりを目指した。改修前の施設はもともと児童館として使用していた建物であり、内装等は、低年齢層を対象とした作りとなっていたため、中高生世代に見合ったものになるよう中高生からの意見を取り入れた。

取組の概要

- 実施場所：ジャンプ東池袋
- 実施方法：設計前に利用者会議で中高生にアンケートや話し合いを行い、要望を聞いた。
内装や外装などは来館時に、中高生と一緒に検討した。
- 内容

【中高生からの意見・要望】

- ・料理ができるような本格的なキッチンが欲しい
 - ・カフェのようなスペースでゆっくりくつろぎたい。
- ほか...



【中高生が壁紙等をセレクト】

- ・外壁の色や壁紙等を中高生の意見を反映させた。
- ・サインプレートの色や文字等も中高生のアディアを取り入れた。



工夫点・留意点

- 中高生が検討しやすいように、設計図や壁紙等のサンプル、写真を実際に見せながら話し合う機会を設けた。部屋のイメージや使い方を共有し、壁紙を検討した。



相談時にも使用する部屋であるため、寂しい気持ちにならず、リラックスできるような色にしたいと中高生が選択する。



中高生の施設向けに大人は選びにくい色も選択。素敵な色合いとなる。チョークでイラストを描ける壁紙を使用。

取組の効果

- 自分の意見が取り入れられ、それが実際に設置されていることを喜んでいる様子が見られており、自分たちの居場所を自分たちで考え反映されることによって、より居心地の良い居場所となると考えられる。



「スポーツができる場所がほしい」と要望があった。屋上及びホールを整備し、バスケットや卓球等ができる場所を、引き続き設置した。

課題・今後の展開

- リニューアルしたことによって新しい設備・機能も増えており、活用していくことが課題となっている。新設されたクッキングスタジオでは料理教室、また照明が増設された音楽スタジオではスタジオライブ実施が考えられるが、今後も中高生と一緒に検討し、中高生の要望に合った日常やイベント事業を展開していく。